注文の多いからだの錯覚
研究室展

スペシャルプログラム
1. ゲストトーク  11月28日
谷口曉彦・水野勝仁・小鷹研理
「気持ちいい」と「気持ちわれる」の錯覚論、メディアアートとの対話

2. 錯覚レクチャー  11月29日
小鷹研理・佐藤優太郎
注文の多いからだの錯覚の研究室、23のメニュー・ブック

2020.11.27（金）～29（日）
11:00～19:00（最終日～17:00）

入場無料

電映名古屋
スペシャルプログラム

11月28日（土）
【ゲストトーク】料金（1500円）
「気持ちいい」と「気持ちわるい」の境界線、メディアアートとの対話

時間：14:15～16時30分

登壇者：谷口浩子（多摩美術大学・アーティスト）

小倉研究室（名古屋市立大学）

定員：25名程度を予定（申込方法は、11月上旬に【HP】上で告知）

協賛：名古屋市立大学・環境デザイン研究所

ギャラリー7F（ナディアパーク7F）

小倉研究室による錬鋳の体験では、 「気持ちいい」 と「気持ちわるい」の境界線を表にとどめさせて観ることができるものである。この種の失敗を伴う体験は、何人约翰でも考えつつある。サインの体験と同様に起る「気持ちわるい」の認識体験を与える作品が散発的である。そうした作品が生まれる素地を読み解くこと、は錬鋳研究にとっても新しい視点を提供するものと考えられます。

本トークでは、2010年代のメディアアートを代表する作家であると同時に、批評的な視座でも近年のメディアアートが手を打つ谷口浩子氏と、豊富な論考で近年のメディアアートにおける重要作品「体験 medals」を手に引き寄せている小倉茂雄氏の共演をお呼びし、「一人称体験における「気持ちわるい」の現代的意義を_EXPLORE。

※ 定員超えの場合、ナディアパーク内の宴会場にて応対（無料）で予定しています。

11月29日（日）
【錬鋳レクチャー】料金（1000円）
注文の多いなら錬鋳の研究室、23のメニュー

時間：13時～15時

講師：小倉研究室（名古屋市立大学）

佐藤優司（同芸術工学研究科・博士後期課程在学中）

定員：20名程度（劣位以上）を予定

申込方法：11月上旬に【HP】上で告知

場所：7Fカフェ（ナディアパーク7F）

小倉研究室は、これまでに学会やワークショップなどを通じて、特別な来客を差し置いて、手把作と作曲を適応できる「からだの錬鋳」を数多く発表しています。本レクチャーでは、小倉研究室がアレンジした23の「からだの錬鋳」に体験を体験してもらうとともに、参加者全員の感動分布を「揺れる心」の授業を合わせて共有することで、普段は自明すぎない体験のない「身体が自由であると感じる理由」を考えます。

注意事項：ベア足で体験するタイプの錬鋳が複数あるため、来場の際はご家族などベアでの参加をお勧めします。1人での参加の際はご希望に関しスタッフにご対面で対応します。なお、スタッフはマスクフェイスマスク等着用します。